

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of
Yoshitada Okuno

Application No. Unassigned

Confirmation No. Unassigned

Filed: Herewith

Examiner: Unassigned

“INFORMATION PROVIDING SUPPORT
SYSTEM AND METHOD, AND
PROGRAM AND SERVER FOR USE IN
THE SYSTEM AND METHOD”

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

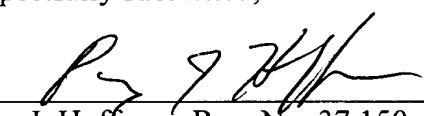
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Enclosed is the priority document for Japanese Patent Application 2001-110400, filed April 9, 2001, from which the above-identified U. S. patent application claims priority.

Respectfully submitted,

Date: 9-16-03



Perry J. Hoffman, Reg. No. 37,150
Michael Best & Friedrich LLC
401 North Michigan Avenue
Suite 1900
Chicago, Illinois 60611
(312) 222-0800

File No. 204126-9003

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2001年 4月 9日
Date of Application:

出願番号 特願2001-110400
Application Number:

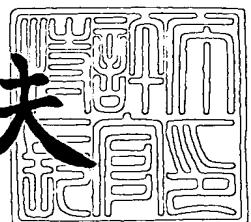
[ST. 10/C] : [JP2001-110400]

出願人 株式会社学習研究社
Applicant(s):

2003年 9月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願
【整理番号】 A000101543
【提出日】 平成13年 4月 9日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 G06F 13/00
【発明の名称】 情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体、サーバ
【請求項の数】 6
【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区上池台4丁目40番5号 株式会社学習研究社内
【氏名】 奥野 芳忠
【特許出願人】
【識別番号】 000000930
【氏名又は名称】 株式会社 学習研究社
【代理人】
【識別番号】 100058479
【弁理士】
【氏名又は名称】 鈴江 武彦
【電話番号】 03-3502-3181
【選任した代理人】
【識別番号】 100084618
【弁理士】
【氏名又は名称】 村松 貞男
【選任した代理人】
【識別番号】 100068814
【弁理士】
【氏名又は名称】 坪井 淳

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100091351

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

【識別番号】 100088683

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 誠

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9102416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体、サーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置とサーバとを含む情報提供支援システムであって、

前記クライアント端末装置は、

前記サーバに対して所定情報を送信するクライアント通信手段、

を有し、

前記ユーザ端末装置は、

前記サーバに対して所定コードを含む情報を電子メールで送信すると共に、前記サーバからの電子メールを受信するユーザ通信手段、

を有し、

前記サーバは、

前記所定情報を少なくとも記憶する記憶手段と、

前記クライアント端末装置のクライアント通信手段、前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段との間で通信を行うサーバ通信手段と、

前記クライアント端末装置のクライアント通信手段より所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するように制御し、

前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段より前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合に、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段に電子メールで返信するように制御する制御手段と、

を有する、

ことを特徴とする情報提供支援システム。

【請求項 2】 前記所定コードとは文字列であり、

当該所定コードは、ユーザ端末装置のユーザ通信手段より送信される電子メールに、当該電子メールの件名に相当する情報として含められる、ことを更なる特徴とする請求項1に記載の情報提供支援システム。

【請求項3】 ネットワークを通して相互に交信が可能な、クライアント通信手段を有するクライアント端末装置と、ユーザ通信手段を有するユーザ端末装置と、サーバ通信手段、記憶手段、制御手段を有するサーバと、を含む情報提供支援システムによりなされる情報提供支援方法であって、

前記クライアント端末装置のクライアント通信手段から送信された所定情報を前記サーバのサーバ通信手段が受信するステップと、

前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段から送信された所定コードを含む情報に係る電子メールを前記サーバのサーバ通信手段が受信するステップと、

前記サーバの記憶手段により前記所定情報を記憶するステップと、

前記クライアント端末装置のクライアント通信手段から所定情報が送信された場合には、前記サーバの制御手段により、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するよう に制御するステップと、

前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合には、前記サーバ側の制御手段により、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段に電子メールで返信するよう に制御するステップと、
を有することを特徴とする情報提供支援方法。

【請求項4】 ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置と記憶手段を有するサーバとを含む情報提供支援システムの、当該サーバにおいて用いられるプログラムであって、

前記クライアント端末装置から所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記サーバの記憶手段に記憶するよう に制御するステップと、

前記ユーザ端末装置から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された

場合には、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御するステップと、
を有する処理を実行させるためのプログラム。

【請求項5】 ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置と記憶手段を有するサーバとを含む情報提供支援システムの当該サーバにより用いられるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記クライアント端末装置から所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記サーバの記憶手段に記憶するように制御するステップと、

前記ユーザ端末装置から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合には、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御するステップと、

を有する処理を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項6】 ネットワークを通して、クライアント端末装置、ユーザ端末装置と交信可能に接続されたサーバであって、

前記所定情報を少なくとも記憶する記憶手段と、
前記クライアント端末装置、ユーザ端末装置との間で通信を行う通信手段と、
前記クライアント端末装置より所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するように制御し、

前記ユーザ端末装置より前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合に、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該情報を、前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御する制御手段と、
を有することを特徴とするサーバ。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、ネットワークを利用したシステム等に係り、特にクライアントが簡易に情報を提供することができ、ユーザが簡易に情報を電子メールで享受することができる情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記憶した記憶媒体、サーバに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、例えば電車の車内中吊り広告やラッピングバスの広告、名刺、新聞や雑誌の広告、及び記事等により、各種企業による広告活動や各種の情報提供がなされている。しかるに、ユーザが、これらの広告等に記載されている情報のうち所望とするものを記録、保存するためには、手書きでメモをとるか、コピー機やスキャナ装置、デジタルカメラ等といった特別な機器を用いる必要があった。

【0003】

従って、例えば、屋外で興味のある広告等を偶然目にした場合等であっても、上述したようなメモや各種機器を携帯していなければ、当該広告等に掲載された情報を迅速に記録・保存・編集等することはできなかった。

【0004】

また、最近では、上述したような各種の広告等に自社のWebページのURL(Uniform Resource Locator)を掲載する場合も多い。

【0005】

このような場合には、ユーザは、パーソナルコンピュータを利用して、興味を持った会社のWebページにインターネットを介してアクセスすれば、広告等に掲載されていた所望とする情報や関連情報を得ることもできる。

【0006】

しかしながら、クライアント企業の立場からすれば、インターネット上で自社のWebページを公開するためには、FTP(File Transfer Protocol)ツールにより、IPP(Internet Presence Provider)等といったWebサーバにH

T M L (Hyper Text Markup Language) によるハイパーテキストと必要となる画像等を書き込む必要があり、処理が複雑であり、また、予め I P Pとの契約が必要とされる場合も多く、煩雑なものであった。

【0007】

また、ユーザの立場からすれば、興味をもった会社のW e b ページにアクセスして得られるのはH T M Lソースであり、ユーザの端末では、受信したH T M Lソースをブラウザで解析して所定の表示をなすだけであり、従って、得られた情報を保存・編集・整理するのは簡便ではなかった。

【0008】

一方、最近では、携帯電話機や情報携帯端末を利用して、外出先でインターネットのW e b ページにアクセスして情報を入手することが一般的になされているが、この場合に得られる情報 (W e b ページ) には制約があり、また、前記同様に得られた情報を保存、編集、整理するのは簡便ではなかった。

【0009】

更に、携帯電話機等は内蔵メモリの容量等が限られていることから、保存することができる情報量にも限度があった。また、一方、クライアント企業にとっても、このようなユーザを対象として情報提供する為には、携帯電話機専用のW e b ページを作成する必要があり、負担も大きく、煩雑であった。

【0010】

ここで、ユーザの操作性に着目すると、従来、前記W e b ページにアクセスする際に、U R Lの代わりに所定のコードを打ち込むと、自動的にU R Lに変換する技術も開発されている。しかし、この技術の場合、ユーザは所定のソフトを自己のパーソナルコンピュータにインストールして用いるか、或いは、所望とするW e b ページにアクセスするに先立って独自のW e b ページにアクセスする必要等があり、結局、煩雑な操作を伴っていた。

【0011】

以上述べたように、ユーザは、所望とする情報を、簡易な操作で迅速に、且つ保存・編集・整理する上で好適な形式で、入手することを囁きしているが、それを実現する技術は存在しなかった。

【0012】

尚、例えば特開2000-57066号公報では、製品カタログ等による情報提供内容に関する質問や回答を電子メールにて返信する場合において、受信した質問内容を自動的に解読し、データベースより対応データを抽出して、自動的に電子メールで返信する技術が開示されている。

【0013】

しかしながら、同公報では、質問内容が予め想定されているものであれば対応するデータを電子メールで返信できるとあるが、受信した質問内容をどのように解読するのか「具体的な記載」は何等なされてはいない。また、同技術では、質問内容を文章で送る必要があることから、煩雑である。

【0014】**【発明が解決しようとする課題】**

本発明は、前記問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、クライアント端末装置とユーザ端末装置とサーバとが、ネットワークを介して通信自在に接続された情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記憶した記憶媒体、サーバにおいて、ユーザ、クライアントに、以下のような利便性を与えることで、両者間の情報提供サービスを支援し、その簡略化及び円滑化を図ることにある。

【0015】

即ち、詳細には、ユーザが、ユーザ端末装置（電子メールを送受信可能な機能を有する装置）で簡易な操作をするだけで、所望とする広告等に係る情報を、電子メールにより、保存、編集、整理する上で好適な形式で、迅速に入手可能とすることを目的とする。さらに、前記電子メールの受信条件を適宜設定可能とすることで、例えば前記広告等に係る情報を二以上の所望とするアドレスにて受信可能とすることを目的とする。

【0016】

また、クライアントが、クライアント端末装置で簡易な操作をするだけで、24時間いつでも、所望とする広告情報並びに添付ファイルを、ユーザに対して提供可能な対象として迅速に登録可能とすることを目的とする。さらに、所定の嗜好

を持つユーザのメールアドレスを収集可能とし、ダイレクトメールを当該ユーザに自動的に送信可能とすることを目的とする。

【0017】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、本発明は、ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置とサーバとを含む情報提供支援システムであって、前記クライアント端末装置は、前記サーバに対して所定情報を送信するクライアント通信手段、を有し、前記ユーザ端末装置は、前記サーバに対して所定コードを含む情報を電子メールで送信すると共に、前記サーバからの電子メールを受信するユーザ通信手段、を有し、前記サーバは、前記所定情報を少なくとも記憶する記憶手段と、前記クライアント端末装置のクライアント通信手段、前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段との間で通信を行うサーバ通信手段と、前記クライアント端末装置のクライアント通信手段より所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するように制御し、前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段より前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合に、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段に電子メールで返信するように制御する制御手段と、を有する、ことを特徴とする。

【0018】

さらに、本発明は、前記所定コードとは文字列であり、当該所定コードは、ユーザ端末装置のユーザ通信手段より送信される電子メールに、当該電子メールの件名に相当する情報として含められる、ことを更なる特徴とする。

【0019】

そして、本発明は、ネットワークを通して相互に交信が可能な、クライアント通信手段を有するクライアント端末装置と、ユーザ通信手段を有するユーザ端末装置と、サーバ通信手段、記憶手段、制御手段を有するサーバと、を含む情報提供支援システムによりなされる情報提供支援方法であって、前記クライアント端

末装置のクライアント通信手段から送信された所定情報を前記サーバのサーバ通信手段が受信するステップと、前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段から送信された所定コードを含む情報に係る電子メールを前記サーバのサーバ通信手段が受信するステップと、前記サーバの記憶手段により前記所定情報を記憶するステップと、前記クライアント端末装置のクライアント通信手段から所定情報が送信された場合には、前記サーバの制御手段により、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するように制御するステップと、前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合には、前記サーバ側の制御手段により、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置のユーザ通信手段に電子メールで返信するように制御するステップと、を有することを特徴とする。

【0020】

さらに、本発明は、ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置と記憶手段を有するサーバとを含む情報提供支援システムの、当該サーバにおいて用いられるプログラムであって、前記クライアント端末装置から所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記サーバの記憶手段に記憶するように制御するステップと、前記ユーザ端末装置から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合には、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御するステップと、を有する処理を実行させることを特徴とする。

【0021】

また、本発明は、ネットワークを通して相互に交信が可能なクライアント端末装置とユーザ端末装置と記憶手段を有するサーバとを含む情報提供支援システムの当該サーバにより用いられるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記クライアント端末装置から所定情報が送信された場合

には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記サーバの記憶手段に記憶するように制御するステップと、前記ユーザ端末装置から前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合には、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該所定情報を、前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御するステップと、を有する処理を実行させることを特徴とする。

【0022】

そして、本発明は、ネットワークを通して、クライアント端末装置、ユーザ端末装置と交信可能に接続されたサーバであって、前記所定情報を少なくとも記憶する記憶手段と、前記クライアント端末装置、ユーザ端末装置との間で通信を行う通信手段と、前記クライアント端末装置より所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対して所定コードを付して、当該所定情報を当該所定コードと関係付けて前記記憶手段に記憶するように制御し、前記ユーザ端末装置より前記所定コードを含む情報が電子メールで送信された場合に、当該情報の中から前記所定コードを抽出し、該所定コードに対応する所定情報を前記記憶手段より読み出し、当該情報を、前記サーバ通信手段により前記ユーザ端末装置に電子メールで返信するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【0023】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

【0024】

先ず、図1乃至図3を参照して、本発明の一実施の形態に係る情報提供支援システムの構成について詳細に説明する。

【0025】

図1に示されるように、この情報提供支援システムは、サーバ1とクライアント端末装置2、ユーザ端末装置3、4がネットワーク5を介して通信自在に接続され、構成されている。クライアント端末装置2としては、パーソナルコンピュータ等を想定している。ユーザ端末装置3、4としては、パーソナルコンピュー

タのほか、携帯電話器、PDA (Personal Digital assistant) 等を想定している。また、ネットワーク5としては、インターネットを想定しているが、これには限定されず、LAN, WAN等も含まれることは勿論である。

【0026】

尚、この図1では、説明を簡略化するために、1つのクライアント端末装置2と2つのユーザ端末装置3, 4のみを図示しているが、複数のクライアント端末装置、ユーザ端末装置が接続されていることは勿論である。

【0027】

クライアント端末装置2、ユーザ端末装置3, 4の内部構成は、例えば図2に示される通りである。即ち、全体の制御を司る制御部10に、モデム等の伝送制御部11、CRTディスプレイ、液晶ディスプレイ等の表示部12、マウスやキーボード等の操作部13、メモリ等の記憶部14が接続されている。この記憶部には、一般的なブラウザソフトやマーラーソフト等が記憶されている。

【0028】

一方、サーバ1の内部構成は、例えば図3に示される通りである。即ち、全体の制御を司る制御部20に、モデムやルーター等の伝送制御部21、メモリ等の記憶部22、s-memoテーブル23、ユーザテーブル24、請求ログテーブル25に係るデータベースが接続され、構成されている。

【0029】

ここで、s-memoコードとは、クライアントが広告等の情報をサーバに提供した時点で当該情報に対して自動的に付与される識別コードをいう。

【0030】

また、s-memoテーブル23とは、該s-memoコードに対応する情報を検索し、引き出す為の所定のテーブルをいう。s-memoテーブル23、ユーザテーブル24、請求ログテーブル25の構成については、それぞれ図7、図12、図14に示されるが、その詳細については後述する。

【0031】

なお、請求項記載のクライアント通信手段、ユーザ通信手段は、例えば伝送制御部11に相当し、サーバ通信手段は、例えば伝送制御部21に相当する。請求

項記載の制御手段は、例えば制御部20に相当し、記憶手段は、例えばデータベースに相当する。所定情報とは、クライアントが情報提供支援サービスを受けるべく提供する情報、つまりユーザが当該サービスにより取得する情報をいい、所定コードとは、s-memoコード等をいう。

【0032】

以下、このような構成の情報提供支援システムの作用を説明する。

【0033】

尚、ここでは、情報提供支援サービスを受けるべく情報を供給する者を「クライアント」とし、当該情報を利用する者を「ユーザ」と称する。

【0034】

先ず、図4乃至図8を参照して、クライアントにより提供された情報に対してサーバ1がs-memoコードを発番する手順を詳細に説明する。

【0035】

クライアントがクライアント端末装置2により「s-memo.com（これは、説明の便宜から付したドメイン名の仮称である）」のWebページにアクセスすると（ステップS1）、サーバ1は、クライアント認証ページのHTMLソースを、伝送制御部21、ネットワーク5を介して、クライアント端末装置2の伝送制御部11に送信する（ステップS2）。

【0036】

クライアント端末装置2では、伝送制御部11が受信したHTMLソースを制御部10が解析し、表示部12にクライアント認証ページを表示する（ステップS3）。このクライアント認証ページは図5に示される通りであり、クライアントのIDとパスワード（PW）の入力を示唆するものとなっている。

【0037】

ここで、クライアントが、操作部13を操作して自己のID及びPWを入力すると、その情報は伝送制御部11、ネットワーク5を介してサーバ1の伝送制御部21に送られる。すると、サーバ1では、制御部20が、そのクライアントが登録された者か否かを判断し（ステップS4）、未登録のクライアントであれば、所定のクライアント登録を行うことになる（ステップS5）。

【0038】

次に、サーバ1は、伝送制御部21、ネットワーク5を介して、本文登録ページのHTMLソースをクライアント端末装置2の伝送制御部11に送信することになる（ステップS6）。すると、クライアント端末装置2では、伝送制御部11が受信したHTMLソースを制御部10が解析し、表示部12に本文登録ページを表示することになる（ステップS7）。

【0039】

この本文登録ページは図6に示される通りである。クライアント端末装置2では、この表示に対し、以下のような情報の入力がなされる。

【0040】

即ち、この本文登録ページの「本文」領域にクライアントが広告等を所望とする文書を書き込む。その際、当該広告の内容に係るカテゴリを「カテゴリ」領域の選択肢の中から選択する。この例では、「教育」が選択されている。

【0041】

添付ファイル（画像、音楽、プログラム、その他）の追加を所望とする場合には、「参照」ボタンをクリックする。すると、「ファイル一覧」に係るダイアログボックスが開く。そこで、この「ファイル一覧」領域のファイル群より添付を所望とするファイルを選択し、「選択」ボタンをクリックする。すると、「参照」ボタンの画面左方に選択したファイル名（この例では、「C:\tmp\01.gif」）が表示される。この状態で、「アップロード」ボタンをクリックすると、該ファイルがアップロードされ、「添付ファイル」領域に表示される。添付ファイルを削除したい場合には、「添付ファイル」領域に表示されたファイル群から削除を所望するものを選択し、「削除」ボタンをクリックすれば良いことになる。

【0042】

以上の入力情報は、サーバ1側に送られ、サーバ1側では、制御部20がs-memoテーブル23にこれらのレコードを追加する（ステップS8）。

【0043】

このs-memoテーブル23の構成は、図7に示される通りである。

【0044】

すなわち、この例では、クライアントのIDとs-memoコード、本文の内容、カテゴリ、ファイルの形式等が関連付けられて記憶される。

【0045】

例えば、ステップS7にてクライアントにより入力された情報は、該テーブル23の上から4段目に、クライアントID「aaaaaa」、s-memoコード「10128」、本文「新1年生参考書○○ 電話番号×××」、カテゴリ「教育」、ファイル形式「TEXT」として記憶されている。

【0046】

ここで、s-memoコードは、サーバ1の制御部20がクライアント端末装置2からの本文登録を受け付けた段階で自動的に付するものである。この点、本情報提供支援システムの特徴点の一つである。

【0047】

続いて、サーバ1は、伝送制御部21、ネットワーク5を介して、s-memoコード通知ページのHTMLソースを、クライアント端末装置2の伝送制御部11に送信する（ステップS9）。すると、クライアント端末装置2は、伝送制御部11が受信したHTMLソースを制御部10が解析し、表示部12にs-memoコード通知ページを表示する（ステップS10）。

【0048】

このs-memoコード通知ページは、図8に示される通りである。

【0049】

即ち、このs-memoコード通知ページには、s-memoテーブル23に登録された「本文」、「カテゴリ」、「添付ファイル一覧」、「ファイル形式」、そして自動的に付された「s-memoコード」が表示される。

【0050】

従って、クライアントは、このページを見ることで、自己が所望とする広告等の情報が、正確にサーバ1側に登録され、情報提供支援サービスを受け得る状態になったことを確認することできる。つまり、この後、s-memoコードを自己の広告等に印刷併記することで、ユーザの利用に供することができる。

【0051】

尚、s-memoコード通知ページの内容は、電子メールでもサーバ1からクライアント端末装置2側に送信される（ステップS11）。これは、クライアント側の当該情報の保存、整理の便宜を図るものである。

【0052】

以上で、クライアントにより提供された情報に対してs-memoコードを自動的に発番するための一連の処理を終了することになる。

【0053】

尚、前述した例では、s-memoコードとして、5桁の数列を採用していたが、これに限定されないことが勿論である。例えば、登録されている本文がTEXT形式の場合にはXXXXX（X=0, 1, 2…）、HTML形式の場合にはh-XXXXXX、登録されている本文に添付ファイルがある場合にはa-XXX XX、とすることもできる。この場合、情報を請求するユーザは、s-memoコードの頭文字を見れば、いかなる形式のファイルを得ることができるのか、事前に知ることができることになる。尚、この場合でも、詳細は後述するが、情報請求の際は頭文字を省略することができることは勿論である。

【0054】

次に、図9乃至図12を参照して、ユーザによる個人受信条件カスタマイズに関する一連の処理について詳細に説明する。尚、本実施の形態では、ユーザ登録がなくても情報を取得することができるので、この個人受信条件カスタマイズの処理は、希望するユーザのみが行う任意手続である。

【0055】

ユーザがユーザ端末装置3により「s-memo.com」のホームページにアクセスすると（ステップS21）、サーバ1はユーザ認証ページのHTMLソースを伝送制御部21、ネットワーク5を介してユーザ端末装置3の伝送制御部11に送信する（ステップS22）。すると、ユーザ端末装置3は、伝送制御部11が受信したHTMLソースを制御部10が解析し、その表示部12にユーザ認証ページを表示することになる（ステップS23）。

【0056】

このユーザ認証ページは、例えば図10に示される通りであり、少なくともユ

ーザのIDとPWの入力を示唆するものとなっている。

【0057】

ここで、ユーザが、操作部13を操作して自己の識別子（ID）及びパスワード（PW）を入力すると、その情報が伝送制御部11、ネットワーク5を介してサーバ1の伝送制御部21に送信される。すると、サーバ1では、その制御部20が、そのユーザが登録された者か否かを判断し（ステップS24）、未登録のユーザであれば、所定のユーザ登録を行う（ステップS25）。

【0058】

続いて、サーバ1は、個人受信条件カスタマイズページのHTMLソースを、伝送制御部21、ネットワーク5を介してユーザ端末装置3の伝送制御部11に送信する（ステップS26）。すると、ユーザ端末装置3は、伝送制御部11が受信したHTMLソースを制御部10が解析し、表示部12に個人受信条件カスタマイズページを表示する（ステップS27）。

【0059】

この個人受信条件カスタマイズページは図11に示される通りである。

【0060】

即ち、この個人受信条件カスタマイズページでは、受信先としてアドレス1（基本アドレス）、アドレス2（その他のアドレス）、アドレス3（その他のアドレス）を登録することが可能となっている。更には、アドレス1、2、3毎に、ファイル形式（TEXT、HTML）、添付ファイルの不可／可、文字数の最大値（MAX）、添付ファイルサイズの最大値（MAX）、ダイレクトメール（以下、DMと略記する）の許可／拒否を設定可能となっている。

【0061】

例えば、この図11において、d d d d dさんの受信条件設定ページでは、アドレス1として「d1@xxx.ne.jp」が設定され、ファイル形式はTEXT、添付ファイルは不可、文字数のMAXは250文字、DMは拒否と設定されている。さらに、アドレス2として「d2@xxx.co.jp」が設定されており、ファイル形式はTEXT、HTML、添付ファイルは可、添付ファイルサイズのMAXは1000キロバイト、DMは許可と設定されている。また、ア

ドレス3として「d3@xxx.ne.jp」が設定されており、添付ファイルは不可、DMは許可と設定されている。尚、アドレス1の設定では、添付ファイルサイズMAXについて設定がされていないが、これは添付ファイル不可と設定されているため、設定の必要がないことによる。

【0062】

以上の入力情報は、サーバ1側に送られ、サーバ1側では、制御部20が、ユーザテーブル24に、これらのレコードを追加する（ステップS28）。

【0063】

このユーザテーブル24の構成は、図12に示される通りである。

【0064】

即ち、このユーザテーブル24では、ユーザIDとアドレス1乃至3及び各アドレスに関する受信条件（ファイル形式、添付ファイルの不可／可、文字数のMAX、添付ファイルサイズMAX、DMの許可／拒否に関する設定情報）が関係付けられて記憶されている。先に図11の受信条件設定ページにて設定された情報は、このユーザテーブル24の1段目に、ユーザID「ddd」、各アドレス1, 2, 3及び各受信条件として記憶されている。

【0065】

こうして、サーバ1は、伝送制御部21及びネットワーク5を介して、ユーザテーブル24に登録された情報を、ユーザ端末装置2の伝送制御部11に送信することになる（ステップS29）。以上により、ユーザによる個人受信条件カスタマイズに関する一連の処理を終了する。

【0066】

次に、図7、図12乃至図14を参照して、ユーザによる情報請求に係る電子メールを受けたサーバ1による情報提供支援に係る一例の処理を説明する。

【0067】

ユーザが、例えば電車の車内中吊り広告やラッピングバスの広告、名刺、新聞や雑誌の広告及び記事等により、あるクライアントによる情報に興味を持った場合、当該広告等に印刷されているs-memoコードを「件名」の欄に記載した電子メールをサーバ1に送信すると、この処理に入ることになる。

【0068】

この点、ユーザにとっては、s-memoコードを送るサーバ1のメールアドレスだけを把握（登録）しておけばいいので、非常に簡便である。

【0069】

サーバ1では、前記ユーザ端末装置3からの電子メールを伝送制御部21により受信すると（ステップS31）、制御部20が記憶部22に予め記憶されているメール解析プログラムを起動し（ステップS32）、当該受信した電子メールより以下の事項を抽出することになる（ステップS33）。

【0070】

即ち、一般に、電子メールは、ヘッダ部とボディ（メール内容）により構成されており、ヘッダ部は電子メールを正確に届けるための情報を有しているが、ここでは、当該ヘッダ部の情報のうち、以下を抽出することになる。

【0071】

From : (ユーザのアドレス) … (a)

Subject : (s-memoコード) … (b)

続いて、サーバ1の制御部20は、s-memoテーブル23（図7参照）からs-memoコード（b）に対応した本文等（これを（c）とする）を読み出す（ステップS34）。続いて、サーバ1の制御部20は、前述したユーザテーブル24（図12参照）を参照して（ステップS35）、アドレス1乃至3にアドレス（a）が存在するか否かを判断する（ステップS36）。

【0072】

ここで、アドレス1乃至3にアドレス（a）が存在する場合には、図14の請求ログテーブルにレコードを追加する（ステップS37）。

【0073】

すなわち、例えば、前記電子メールの送信元のアドレスが（a）=「d1@xxx.x.e.jp」であり、件名が（b）=10128であった場合には、これらはユーザテーブル24（図12）に存在するので、請求ログテーブル25にユーザID「d1」、請求者アドレス「d1@xxx.x.e.jp」、s-memoコード「10128」を追加することになる。

【0074】

尚、図14の上から4段目のレコードがこれに相当する。

【0075】

そして、サーバ1の制御部20は、ユーザテーブル24より、該当ユーザのアドレスを読み出し（これを（d）とする）（ステップS38）、本文等（c）を請求者の返信希望アドレス（d）に返信することになる（ステップS39）。

【0076】

この例では、ユーザd d d d dに返信する本文等（c）がテキストファイルのみである場合には、アドレス1、2に返信し、HTMLファイルである場合及び添付ファイルがある場合には、アドレス2に返信することになる。

【0077】

一方、前記ステップS36において、アドレス1乃至3に前記（a）が存在しない場合には、図14の請求ログテーブルにレコードを追加する。この場合、ユーザID「なし」として、請求者のアドレス（a）をs-memoコード（b）と共に記憶する（ステップS40）。

【0078】

図14の上から3段目のレコードがこれに相当する。そして、本文等（c）を請求者のアドレス（a）に返信する（ステップS41）。

【0079】

尚、本文等（c）に画像や音声、プログラム等のデータなどのバイナリ情報を添付する場合には、MIME（Multipurpose Internet Mail Extensions）という電子メールの拡張機能を用いることになる。

【0080】

こうして、上記ステップS39の処理の後、返信可能なアドレスに添付ファイル付きの電子メールを送った旨、つまり「返信状況報告」を記載した電子メールを、前述したユーザのアドレス（a）、（d）の少なくともいずれか一方に送信する（ステップS42）。

【0081】

以上により、ユーザによる情報請求に係る電子メールを受けたサーバ1による

情報提供支援サービスに係る一例の処理を終了することになる。

【0082】

次に、図7、図12、図15を参照して、請求行動の記録から特定の嗜好を持つユーザを絞り込むための処理の流れを詳細に説明する。

【0083】

ここでは、「特定の嗜好」として「教育」を例に挙げて、特定ユーザを絞り込む過程を説明する。先ず、サーバ1の制御部20は、s-memoテーブル23(図7)からカテゴリが「教育」になっているs-memoコードを取得する(ステップS50)。即ち、この例では、制御部20により、図7のs-memoテーブル23が参照され、「カテゴリ」が「教育」となっているものが検出され、該当するs-memoコードとして「10128」が得られる。

【0084】

続いて、サーバ1の制御部20は、請求ログテーブル25(図14)を参照してs-memoコード「10128」を請求したユーザを特定する(ステップS51)。この例では、対象がユーザdddddd、eeeeeeに絞り込まれる。

【0085】

次いで、制御部20は、ユーザテーブル24(図12)を参照して、該当ユーザdddddd、eeeeeeが企業からのDMを許可しているか否かを判断する(ステップS52)。即ち、この例では、ddddddは「YES」で送付先のアドレスも特定でき、eeeeeeは「YES」だがアドレスが特定できない。

【0086】

以上より、制御部20は、ユーザテーブル24からddddddを該当ユーザとして特定し、アドレス2を取得する(ステップS53)。こうして、請求行動の記録から特定の嗜好を持つユーザを絞り込むための処理を終了する。

【0087】

クライアントは、サーバ1により絞り込まれた特定ユーザのアドレスを得ることができるので、各種のダイレクトメールを送信可能となる。尚、ダイレクトメールの送信自体をサーバ1に委託することもできる。

【0088】

以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明はこれに限定されることはなく、その趣旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能である。

【0089】

例えば、前述した実施の形態では、s-memoコードとして文字列を例に挙げて説明したが、当該s-memoコードに、電子メール返信先アドレスに関する情報を含ませることもできる。即ち、「10128:2」とあった場合には、電子メールをアドレス2に返信し、「10128:1, 2」とあった場合には、電子メールをアドレス1, 2に返信するように制御することも可能である。

【0090】

さらに、サーバ1が、ユーザから請求されたs-memoコードに対応する電子メールを返信する際に、当該電子メールの本文中に例えば抽選番号、割引券などといったものを含めることも考えられる。

【0091】

この場合、例えば飲食店に関する広告を見たユーザが、そのs-memoコードを件名に記載した電子メールをサーバ1に送信すると、サーバ1は当該広告に関する情報を電子メールで返信する際に、当該飲食店における「割引券」となるものを本文中に自動的に追加することになる。

【0092】

また、1つのs-memoコードに複数の本文を関連付けて登録すること、ユーザからの請求に対して「ランダム」、「日付指定」、「指定時間指定」など、予め定められた規則の下で自動的に電子メールを返信する機能を付加することもできる。この場合には、例えば、ある映画館の広告に関するs-memoコードを「件名」に記載した電子メールを送ると、サーバ1は、当該電子メールを受けた「日時」の映画スケジュールに関する電子メールを返信することになる。

【0093】

さらに、会員（既登録）ユーザに対する機能として、例えばある飲食店に関するs-memoコードを電子メールでサーバ1に送った場合に、その飲食店を利用したことのある人の最新の感想複数件を電子メールで返信するようなことも実現可能である。この場合、サーバ1は、その飲食店のs-memoコードと関連

付けて複数件の電子メールを記憶しておくことになる。

【0094】

また、電子メールの「件名」の欄に2以上のs-memoコードを付せば、一度の手間で複数のクライアントに関する情報を得ることも可能である。

【0095】

【発明の効果】

以上詳述したように、本発明によれば、ユーザ、クライアントに、以下のような利便性を与えることで、両者間の情報提供サービスを支援し、その簡略化及び円滑化を図る情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記憶した記憶媒体、サーバを提供することができる。

【0096】

すなわち、詳細には、ユーザが、ユーザ端末装置で簡易な操作をするだけで、所望とする広告等に係る情報を、電子メールにより、保存・編集・整理する上で好適な形式で、迅速に入手可能とすることができます。さらに、前記電子メールの受信条件を適宜設定可能とすることで、例えば広告等に係る情報を二以上の所望とするアドレスにて受信可能とすることができます。

【0097】

また、クライアントが、クライアント端末装置で簡易な操作をするだけで、24時間いつでも、所望とする広告情報並びに添付ファイルを、ユーザに対して提供可能な対象として迅速に登録可能とすることができます。さらに、所定の嗜好を持つユーザのメールアドレスを収集可能とし、ダイレクトメールを当該ユーザに自動的に送信可能とすることができます。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態に係る情報提供支援システムの概略構成図である。

【図2】

図1におけるクライアント端末装置2、ユーザ端末装置3、4の詳細な構成例を示すブロック図である。

【図3】

図1におけるサーバ1の詳細な構成例を示すブロック図である。

【図4】

s-memoコード発番のための処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】

クライアント認証ページの一例を示す図である。

【図6】

本文登録ページの一例を示す図である。

【図7】

s-memoテーブルの一例を示す図である。

【図8】

s-memoコード通知ページの一例を示す図である。

【図9】

個人受信条件カスタマイズに関する処理の流れを示すフローチャートである。

【図10】

ユーザ認証ページの一例を示す図である。

【図11】

個人受信条件カスタマイズページの一例を示す図である。

【図12】

ユーザテーブルの一例を示す図である。

【図13】

ユーザによる情報請求に係る電子メールを受けたサーバによる一例の処理の流れを示すフローチャートである。

【図14】

請求ログテーブルの一例を示す図である。

【図15】

請求行動の記録から特定の嗜好を持つユーザを絞り込むための処理の流れを示すフローチャートである。

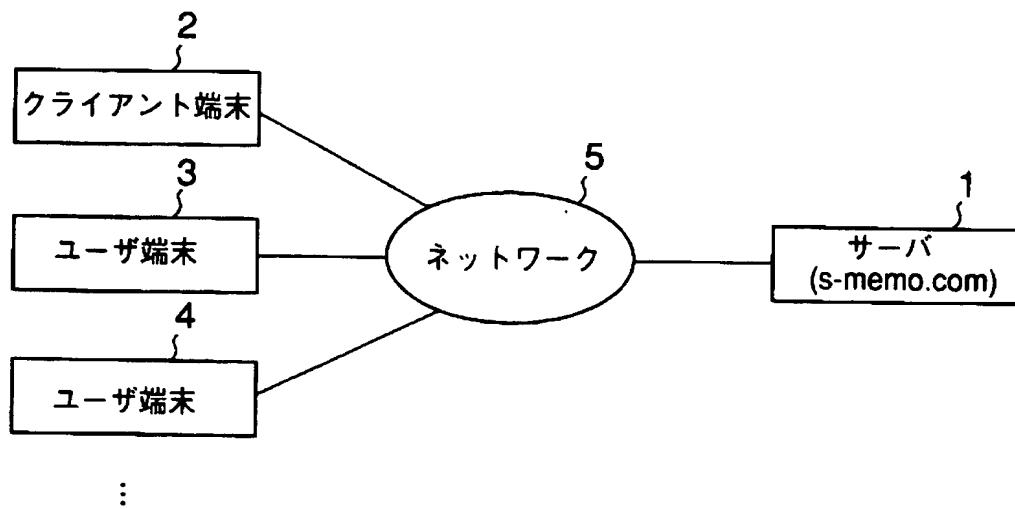
【符号の説明】

1 サーバ

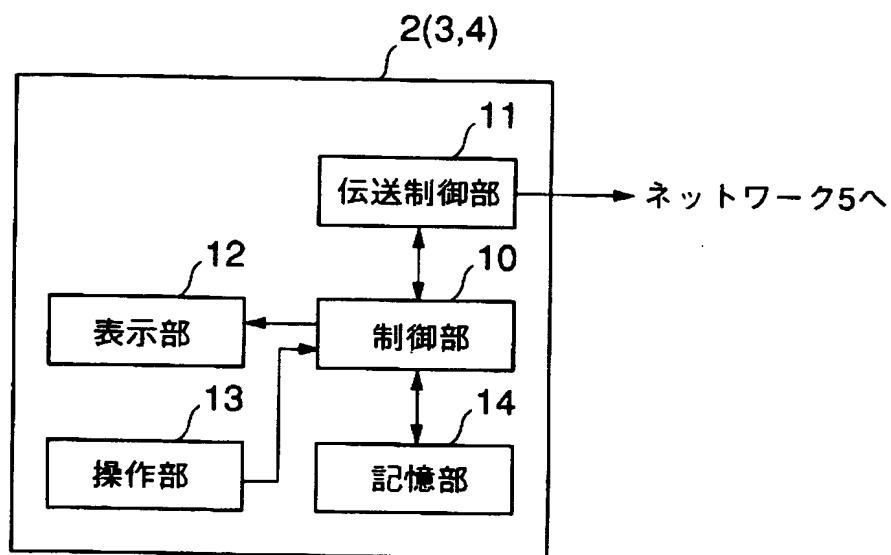
2 クライアント端末装置
3 ユーザ端末装置
4 ユーザ端末装置
5 ネットワーク
1 0 制御部
1 1 伝送制御部
1 2 表示部
1 3 操作部
1 4 記憶部
2 0 制御部
2 1 伝送制御部
2 2 記憶部
2 3 s-memo テーブル
2 4 ユーザテーブル
2 5 請求ログテーブル

【書類名】 図面

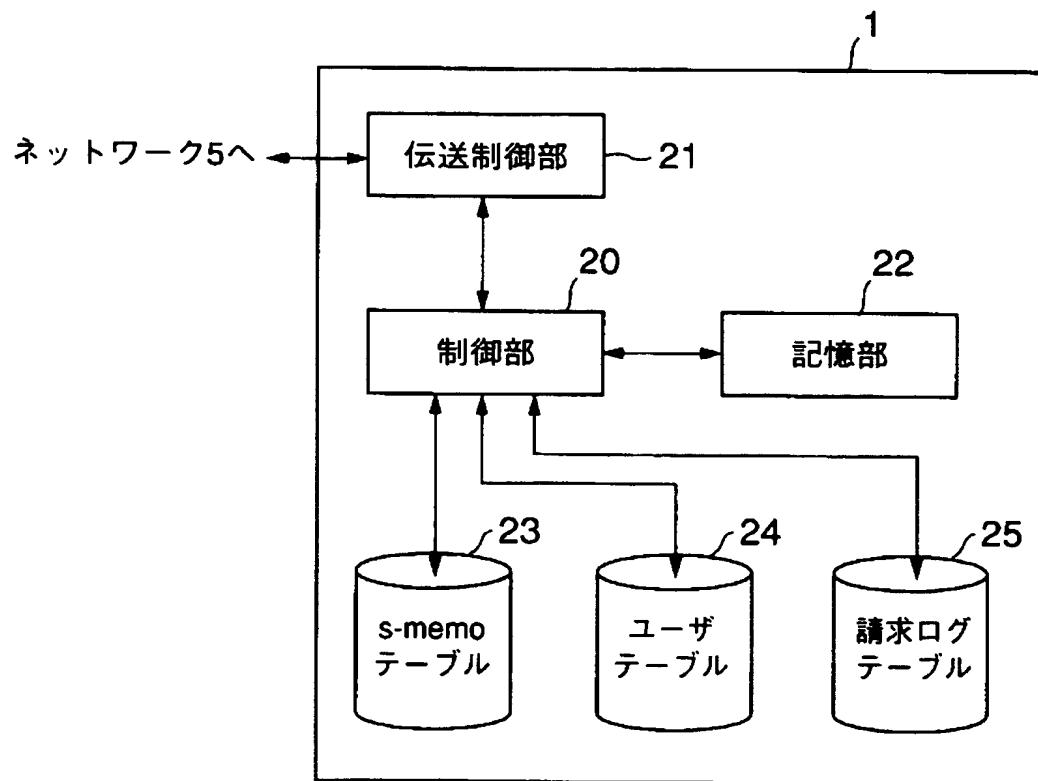
【図1】



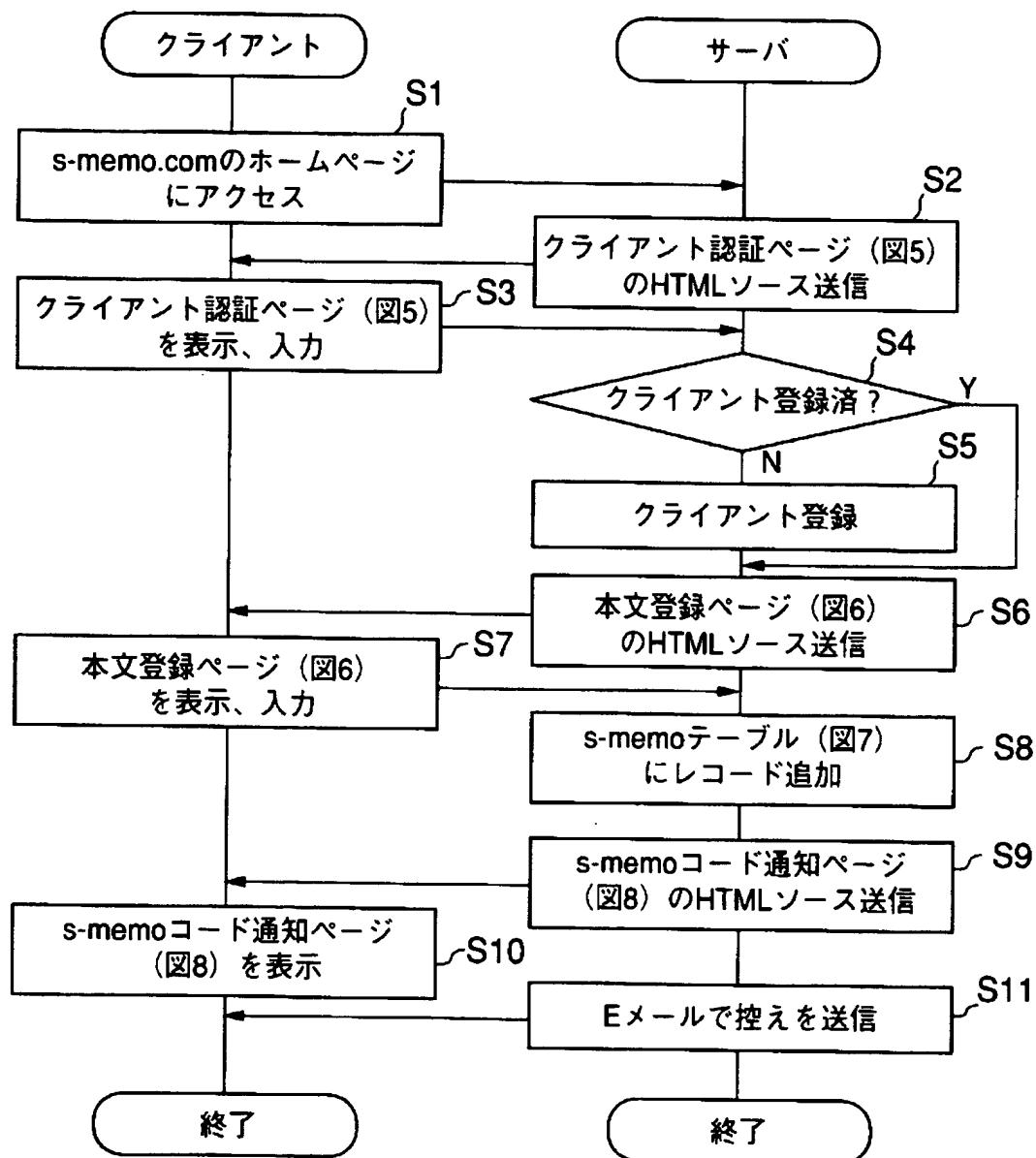
【図2】



【図3】



【図4】



【図 5】

ID	aaaaa
PW	*****

【図 6】

本文

新1年生参考書○○
電話番号×××

カテゴリ
●教育○経済○娯楽○映画 …

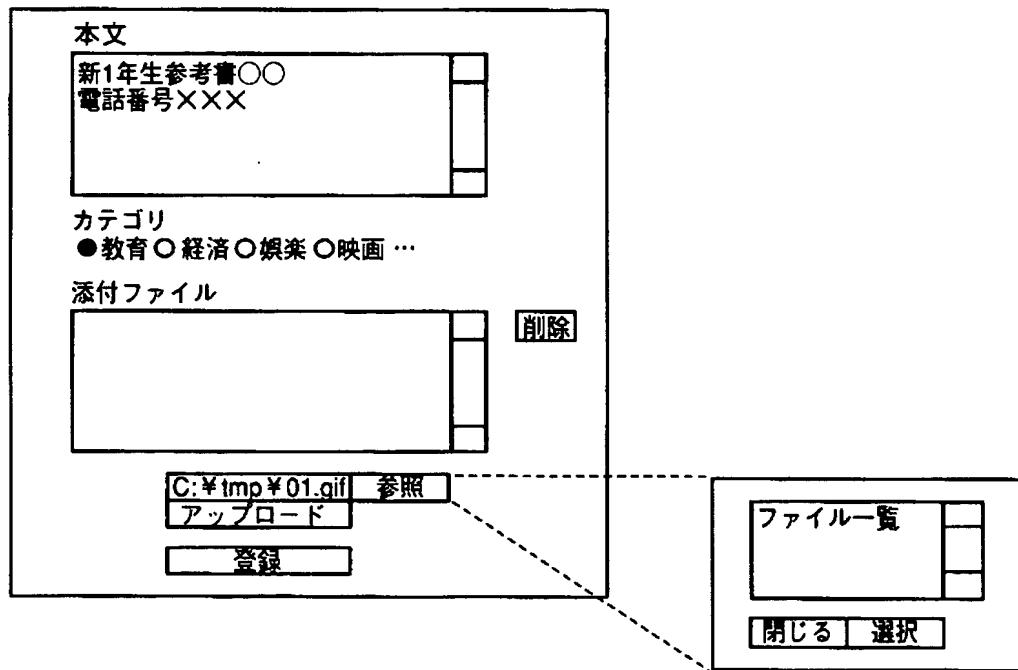
添付ファイル

C:\¥imp\¥01.gif 参照
削除

登録

ファイル一覧

閉じる 選択



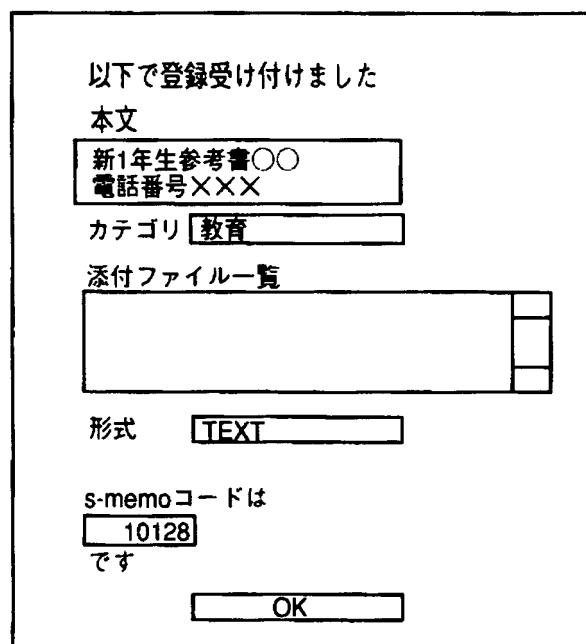
A dashed line connects the '参照' (Reference) button in the file selection dialog to the 'C:\¥imp\¥01.gif' entry field in the main input form, indicating a file selection action.

【図7】

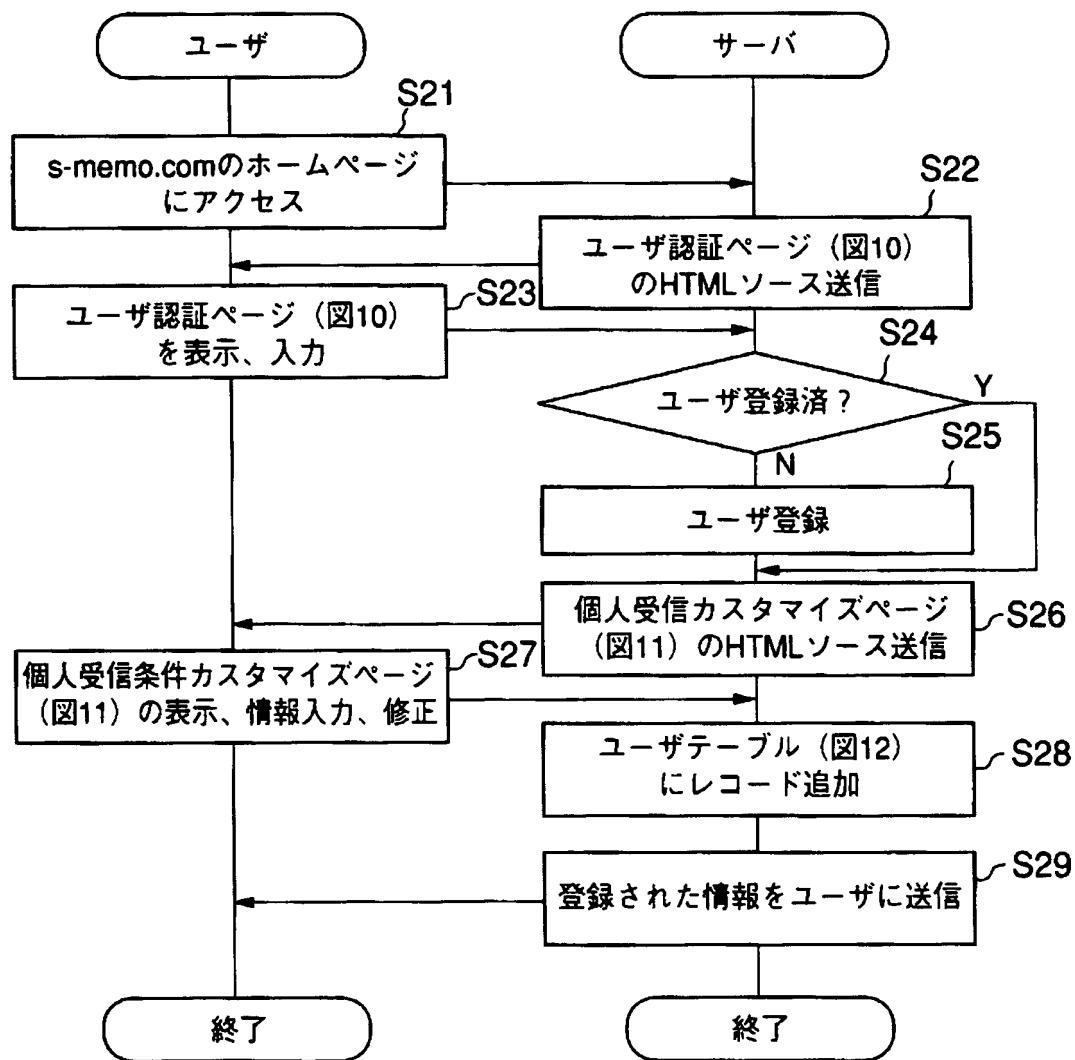
23

クライアント	s-memoコード	本文	カテゴリ	形式	…
bbbbbb	10125	景気を測定する新手法が発表され、 世界中がおどろいた	経済	TEXT	
aaaaaa	10126	パーゴルフのHPは http://www.XXXX	レジャー	TEXT	
cccccc	10127	ミュージックHPは http://www.XXXX	音楽	TEXT	
aaaaaa	10128	新1年生参考書○○ 電話番号×××	教育	TEXT	
…	…	…	…	…	…

【図8】



【図9】



【図10】

ID	ddddd
PW	*****

【図11】

ddddd さんの受信条件設定ページ

アドレス1 (基本アドレス)
d1@×××.ne.jp

■ TEXT HTML
添付ファイル ● 不可 可

文字数の MAX 文字

添付ファイルサイズMAX kbyte

DM 許可 拒否

アドレス2 (他のアドレス)
d2@×××.co.jp

■ TEXT HTML
添付ファイル ○ 不可 可

文字数の MAX 文字

添付ファイルサイズMAX kbyte

DM 許可 拒否

アドレス3 (他のアドレス)
d3@×××.ne.jp

TEXT HTML
添付ファイル ● 不可 可

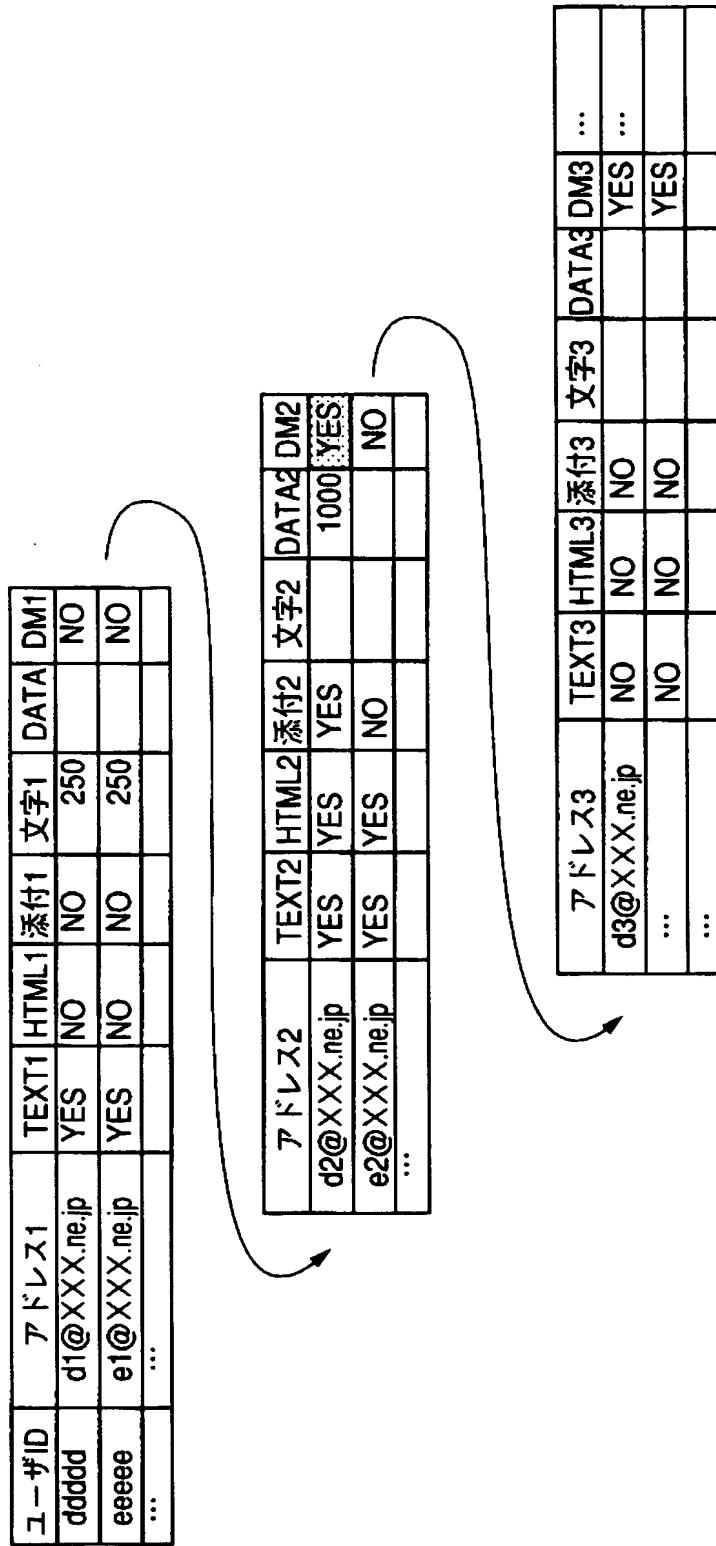
文字数の MAX 文字

添付ファイルサイズMAX kbyte

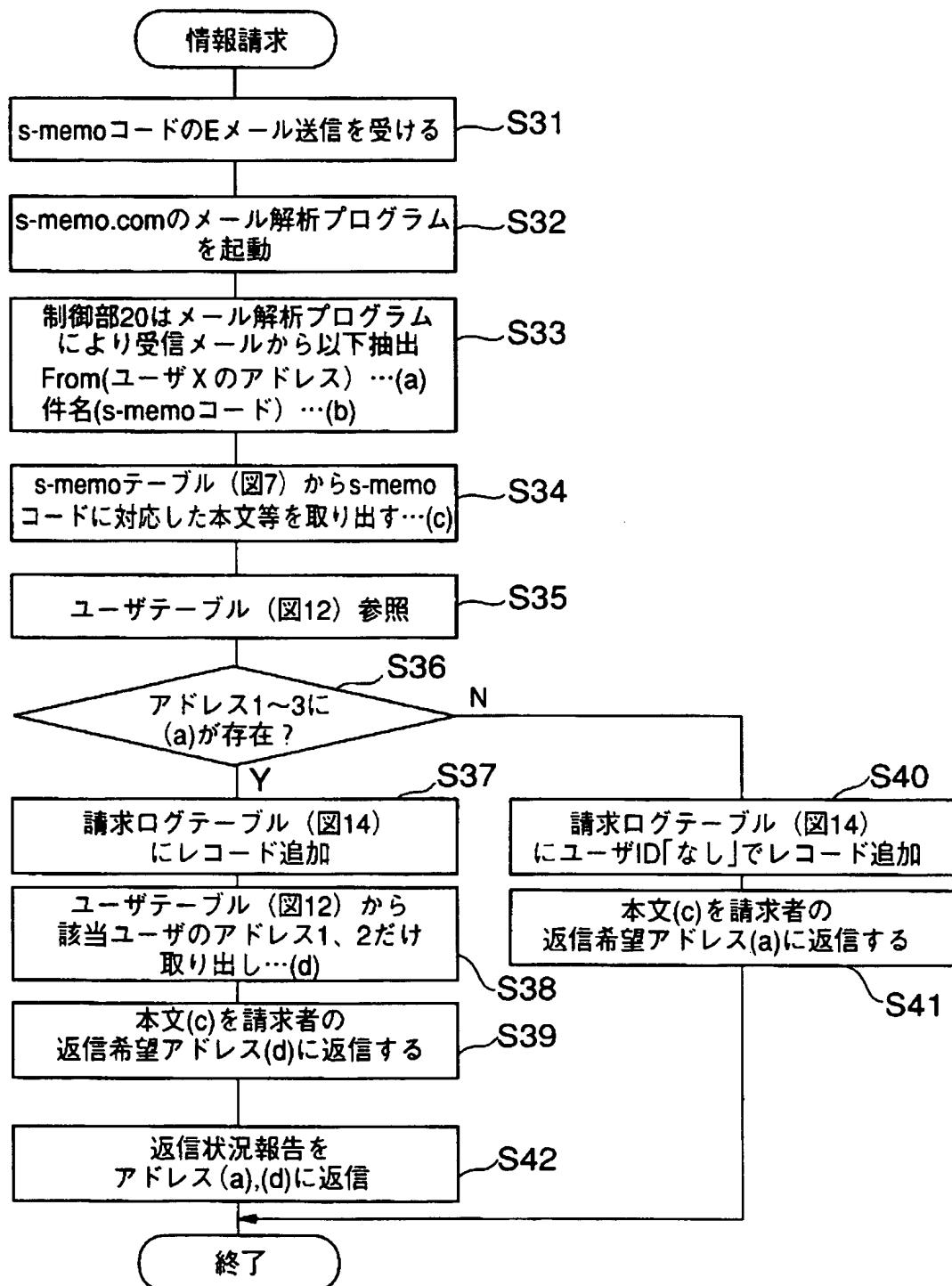
DM 許可 拒否

【図 1 2】

24



【図13】

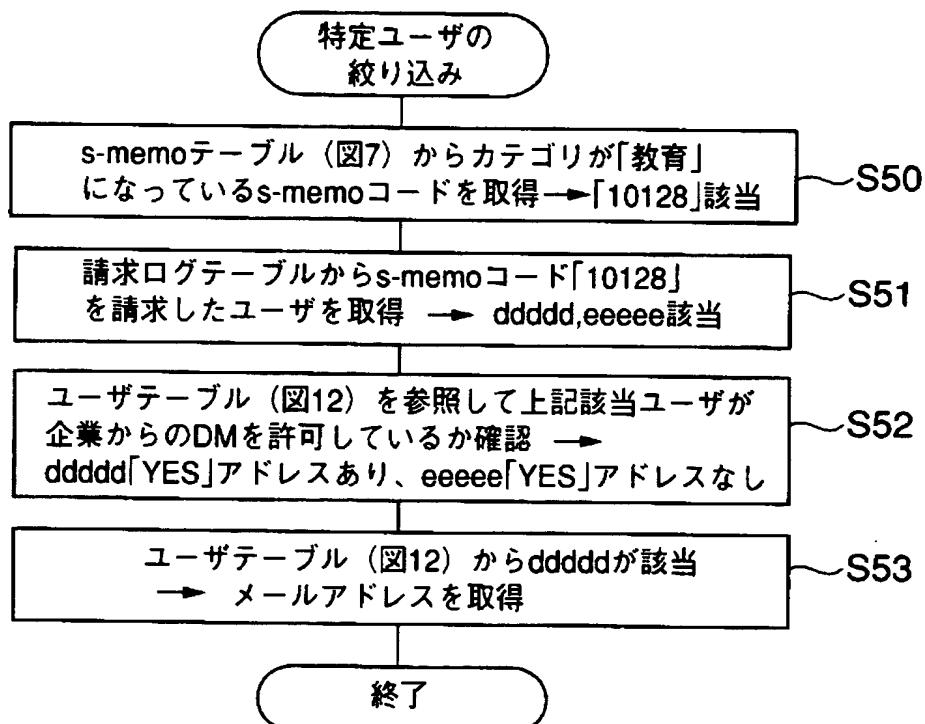


【図14】

25

ユーザID	請求者アドレス	s-memoコード	...
なし	f1@xxx.ne.jp	10125	...
ddddd	d1@xxx.ne.jp	10125	...
なし	f1@xxx.ne.jp	10128	...
ddddd	d1@xxx.ne.jp	10128	...
eeeeee	d1@xxx.ne.jp	10128	...
...
...
...
...
...
...

【図15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザ、クライアント間の情報提供サービスを支援し、その簡略化及び円滑化を図る情報提供支援システム及び方法、並びにそれらに用いられるプログラム、該プログラムを記憶した記憶媒体、サーバを提供する。

【解決手段】 本発明のシステムは、サーバ1において、クライアント端末装置2より所定情報が送信された場合には、当該所定情報に対してs-memoコードを付して、両者を関係付けて記憶し、ユーザ端末装置3、4より前記s-memoコードを「件名」に記載した電子メールで送信された場合に、当該コードを抽出し、該コードに対応する所定情報をユーザが所望とするユーザ端末装置3、4に電子メールで返信するものである。

【選択図】 図1

特願2001-110400

出願人履歴情報

識別番号 [000000930]

1. 変更年月日 1990年 8月 3日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区上池台4丁目40番5号
氏 名 株式会社学習研究社